

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0101	科 目 名	クロスメディア情報概論		科目区分	専任	
科 目 群	一般教養	担当講師	増田孝博		履修区分	講義	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書				参考書			
成績評価	定期試験、出席点、課題提出						

### 1. 授業概要

インターネットの普及により、新たなメディア活用方法が日々生まれている。IT技術者の側面から必要とされる知識と、実際にどのように使われるかを学び、イベントを通して実体験する

### 2. 到達目標

インターネット時代のデータの取り扱いを学び、応用技術へ利用するための方法を習得する

### 3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス
2	メディアとは何か？
3	情報の表現方法。
4	マルチメディアについて。
5	画像フォーマットと圧縮技術
6	映像フォーマットとインタフェース
7	マルチメディア技術の応用
8	中間試験
9	3Dデータの種類と表現方法
10	VR技術
11	VR制作方法
12	AR技術とこれからの表現方法
13	ヒューマンインタフェース
14	インターネット放送技術
15	期末試験
16	インターネットライブ中継基礎
17	インターネットライブ中継実践

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0102	科目名	ビジネスソフト		科目区分	兼任	
科目群	一般教養	担当講師	得能 正一		履修区分	演習	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	選択必修
教科書	30時間マスタ Office2016			参考書			
成績評価	出席点 40%・中間試験 30%・期末試験 30%						

### 1. 授業概要

ビジネスの現場で利用されるワープロソフト (Word)、表計算ソフト (Excel)、プレゼンテーションソフト (PowerPoint)の操作方法と演習。

### 2. 到達目標

Office系ソフトウェアの基本操作から実務に即した手法まで修得する。

### 3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション、「Word」「Excel」「PowerPoint」とは。
2	Word (IME操作、入力、変換、ひらがな・カタカナ・漢字・英数・記号等/テキスト 35~47P)
3	Word (範囲選択、文字列の複写・挿入・削除・移動等、文字の揃え・装飾等/テキスト 38~62P)
4	Word (表を活用した文章の作成等/テキスト 63~68P)
5	Word (表の編集、装飾等/テキスト 69~76P)
6	Word (画像や図形を用いた文章の作成や応用 1/テキスト 77~84P)
7	Word (画像や図形を用いた文章の作成や応用 2/テキスト 84~95P)
8	中間試験
9	Excel (表計算ソフトとは、入力、計算式について等/テキスト 96~121P)
10	Excel (計算式と関数の再確認、表組みの装飾、グラフ作成、ワードとの連携等/テキスト 122~193P)
11	PowerPoint (プレゼンテーションとは、図形やグラフ等/テキスト 194~211P)
12	PowerPoint (図形やグラフ等の応用/テキスト 212~225P)
13	PowerPoint (その他の機能/テキスト 226~243P)
14	PowerPoint (プレゼンテーションの基礎知識/テキスト 244~247P)
15	期末試験対策
16	期末試験・課題提出・イベント
17	期末試験解説・課題提出・イベント

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0103	科 目 名	社会人基礎力講座 (留学生)		科目区分	兼任	
科 目 群	教養	担当講師	八木 純子		履修区分	必修・選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト		参考書	新聞 オリジナルプリント オリジナルワークシート 3級検定過去問題			
成績評価	期末テスト(模擬試験) 60%		ビジネス能力検定の合否 20%		出席と通常授業態度 20%		

### 1. 授業概要

留学生達が 日本での就職活動や 職場で役立つ「ビジネススキルとビジネスマナー」をしっかりと身につける。

### 2. 到達目標

ビジネス能力検定ジョブパス3級の資格を取得できるレベルの知識や読解力・判断力を習得。合格を目標。

### 3. 授業計画

後期	
1	SMBC 特別講座 SMBC コンシューマーファイナンス (株)
2	「オリエンテーション」「あいさつなど立居振舞」「ビジネス検定3級とは」「キャリア、仕事、働くということ」「会社の基本とルール」「8つの意識①」「練習問題」
3	「8つの意識②」「練習問題」「ケース問題の練習」「ビジネス用語①」
4	「コミュニケーションとビジネスマナーの基本 敬語種類・報連相・職場でのあり方等①」「練習問題」「ビジネス用語②」
5	「コミュニケーションとビジネスマナーの基本 敬語種類・報連相・職場でのあり方等②」「練習問題」「ビジネス用語③」
6	マイナビ説明会 (株) マイナビ
7	「新聞問題の解き方のコツと練習」「新聞問題」「ビジネス用語④」
8	「ビジネス文書①」「Eメール・パソコン」「練習問題」「ビジネス用語⑤」
9	着こなし講座 コナカ・フラッグ
10	「ビジネス文書②」「練習問題」「表グラフ問題」「ビジネス用語⑥」
11	「来客応対・面談・名刺交換・訪問・会食・冠婚葬祭①」「過去問題」
12	「来客応対・面談・名刺交換・訪問・会食・冠婚葬祭②」「練習問題」「ビジネス用語⑦」
13	「電話応対」「仕事への取り組み方・定型・非定型業務・スケジュール」「過去問練習」
14	「日本経済の状況と歴史」「ビジネス用語や略語のまとめ」「過去問練習」
15	期末テスト (B 検模擬テスト形式で) 丁寧な解説と解答 総まとめ
16	CBT (Computer Based Testing) 実践練習 パソコンルームにて
17	B 検ジョブパス 3 級 CBT 受験本番

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0103	科 目 名	社会人基礎力講座		科目区分	兼任	
科 目 群	一般教養	担当講師	相原 芳美		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書				参考書			
成績評価	課題 40点、テスト 60点						

### 1. 授業概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や言葉遣いなど社会人として必要な基礎的な力を理解し、就職に対する意識を高め、チームで働く力や向上心を伸ばす。</li> <li>・就職や将来の夢を実現するために、自己理解を深めた上で、書類の書き方や面接での基本姿勢などの演習を行い、実践形式の授業を展開する</li> <li>・講義形式を基本とするが、実用的な学習・演習の時間も適宜取り入れる。</li> </ul>
---

### 2. 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーやコミュニケーション等の社会人として必要な力とその重要性を理解している。</li> <li>・基礎的なマナーを理解し、実践できている（挨拶、お礼など、私物を机の上で出さない、上着や帽子の着用等）。</li> <li>・コミュニケーション力が、講座開始時よりも向上している（発信・傾聴）。</li> <li>・自分の長所や短所など、就職活動に必要なアピールポイントを概ね理解できている。</li> <li>・就職活動に対する意識が高まり、準備すべき事柄（書類を書く、エントリーする等）を理解できている。</li> </ul>
--

### 3. 授業計画

後期	
1	SMBC 特別講座 SMBC コンシューマーファイナンス (株)
2	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
3	社会人に必要なマナーの理解（挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS利用のマナー）
4	コミュニケーション力向上ワークショップ
5	「チームワーク」向上のワークショップ
6	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
7	「考え抜く力」向上のワークショップ
8	まとめテスト
9	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 I
10	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 II
11	「自己理解」のためのワークショップ①（価値分析・モチベーション）
12	「自己理解」のためのワークショップ②（好きなこと・得意なこと）
13	「自己理解」のためのワークショップ③（社会人基礎力の再評価・自己PR）
14	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え
15	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え
16	企業説明会のエントリー・参加マナー
17	面接練習・まとめテスト

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0104	科 目 名	写真編集		科目区分	兼任	
科 目 群	一般教養	担当講師	坂上 恒之		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書				参考書			
成績評価	課題 30% 作品提出 60% 授業貢献度 10%						

### 1. 授業概要

制作プロダクトのマネジメントについて

### 2. 到達目標

主に DTP の完成までの制作プロセスにおけるソフト間の連携 (Adobe Illustrator と Photoshop) を学ぶ

### 3. 授業計画

後期	
1	デジタルフォトで撮影された各自作品をデータから作品へと仕上げる 1 調子の出し方
2	デジタルフォトで撮影された各自作品をデータから作品へと仕上げる 2 色の修正
3	デジタルフォトで撮影された各自作品をデータから作品へと仕上げる 3 シャープ・ぼかし等
4	各自の写真を使い PhotoShop の機能を使い加工する 1
5	各自の写真を使い PhotoShop の機能を使い加工する 2
6	フォトショップの新機能の紹介 1
7	フォトショップの新機能の紹介 2
8	組写真を作るにあたっての準備 1 リサイズ 解像度 色モードの知識
9	組写真を作るにあたっての準備 2 合成 レイアウト 見せ方の知識
10	イラストレータ フォトショップの連携 2
11	イラストレータ フォトショップの連携 3
12	組写真の作成 (A3 ワンボードレイアウト) 1
13	組写真の作成 (A3 ワンボードレイアウト) 2
14	組写真の作成 (A3 ワンボードレイアウト) 3
15	組写真の作成 (A3 ワンボードレイアウト) 4 期末課題提出
16	課題提出講評
17	課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0105	科目名	外国語 I (英語)		科目区分	兼任	
科目群	一般教養	担当講師	Getrude Njokwe		履修区分	選択必修	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点 60%、定期試験 40%						

### 1. 授業概要

英語コミュニケーション
-------------

### 2. 到達目標

英語でコミュニケーション、プレゼンテーションを学ぶ
---------------------------

### 3. 授業計画

前期	
1	クラス説明、自己紹介プレゼンを作る
2	自己紹介プレゼン
3	好きな映画を紹介・パソコン、インターネット単語
4	パソコン、インターネット単語
5	パソコン、インターネット単語・プレゼンを作る
6	プレゼンを作る
7	中間試験
8	パソコン、インターネット単語 2
9	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 2
10	パソコン、インターネット単語 3
11	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 3
12	インタビュー練習
13	インタビュー練習
14	インタビュー練習
15	期末試験対策
16	期末試験
17	期末試験説明、課題提出
後期	
1	パソコン、インターネット単語 4
2	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 4
3	パソコン、インターネット単語 5
4	中間試験プレゼン内容を決める
5	中間試験プレゼンを作る
6	中間試験プレゼン練習
7	中間試験
8	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 5
9	パソコン、インターネット単語 6
10	基本会話練習・パソコン、インターネット単語 6
11	ファイナルプレゼンテーションを作る
12	ファイナルプレゼンテーションを作る

1 3	ファイナルプレゼンテーションを作る
1 4	ファイナルプレゼンテーション練習
1 5	期末試験対策
1 6	期末試験
1 7	期末試験説明、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0106	科 目 名	外国語 I (日本語)		科目区分	兼任	
科 目 群	一般教養	担当講師	横田 憲子		履修区分	選択	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	プリント教材		参考書	完全マスター、パワードリル、実戦ドリル、漢字マスター等			
成績評価	平常点(出席・授業態度・授業貢献度等) 30%、定期試験 70%、						

### 1. 授業概要

中級文法、語彙を身に着け、日本語力全般を向上させる

### 2. 到達目標

日本語能力試験N2、N1に合格できる力をつける。

### 3. 授業計画

前期			
1	プレイスメントテスト (文字語彙文法読解)、アンケート、自己紹介		
2	文字語彙①	N2文法①	読解①
3	文字語彙②	文法表現①	読解②
4	文字語彙③	N2文法②	読解③
5	文字語彙④	文法表現②	読解④
6	文字語彙⑤	N2文法③	聴解①
7	中間試験		
8	文字語彙⑤	文法表現③	読解⑤ テスト返却、答え確認 復習
9	文字語彙⑥	N2文法④	聴解②
10	文字語彙⑦	文法表現④	読解⑥
11	文字語彙⑧	N2文法⑤	読解⑦
12	文字語彙⑨	文法表現⑤	聴解③
13	文字語彙⑩	N2文法⑥	読解⑧
14	文字語彙⑪	文法表現⑥	聴解④
15	文字語彙⑫	N2文法⑦	読解⑨
16	文字語彙⑬	文法表現⑦	聴解⑤
17	期末試験		
後期			
1	期末テスト返却 答え確認 復習		
2	文字語彙⑭	N2文法⑦	読解⑩
3	文字語彙⑮	文法表現⑦	読解⑪
4	文字語彙⑯	N2文法⑧	読解⑫
5	文字語彙⑰	文法表現⑧	読解⑬
6	文字語彙⑱	N2文法⑨	聴解⑥
7	中間試験		
8	文字語彙⑲	文法表現⑨	テスト返却、答え確認 復習
9	文字語彙⑳	N2文法⑩	読解⑭
10	文字語彙㉑	文法表現⑩	読解⑮
11	文字語彙㉒	N2文法⑪	読解⑯
12	文字語彙㉓	文法表現⑪	聴解⑦



1 3	文字語彙⑭	N 2 文法⑫	読解⑰
1 4	まとめ①	読解	
1 5	まとめ②	読解	
1 6	まとめ④	読解	
1 7	期末試験		

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0107	科 目 名	外国語Ⅱ		科目区分	兼任	
科 目 群	一般教養	担当講師	Getrude Njokwe		履修区分	選択必修	
開講学年	2	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点(出席 30%・授業態度+授業貢献度等 30%)60%、定期試験 40%						

### 1. 授業概要

英語コミュニケーション
-------------

### 2. 到達目標

適切な IT 単語を含まれ、英語でコミュニケーション、プレゼンテーションを学ぶ
---

### 3. 授業計画

前期	
1	クラス説明、自己紹介プレゼンを作る
2	自己紹介プレゼン・読解
3	自己紹介プレゼン会話・IT 単語 1
4	IT 単語 1・読解の会話
5	中間試験プレゼン内容を決める
6	中間試験プレゼンを作る
7	中間試験
8	会話・IT 単語 2
9	IT 単語 2・会話
10	会話・IT 単語 3
11	IT 単語 3・会話
12	インタビュー練習
13	インタビュー練習
14	インタビュー練習
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験説明、課題提出
後期	
1	会話・IT 単語 4
2	IT 単語 4・会話
3	会話・IT 単語 5
4	中間試験プレゼン内容を決める
5	中間試験プレゼンを作る
6	中間試験プレゼン練習
7	中間試験
8	IT 単語 6
9	IT 単語 6・会話
10	会話 IT・単語 6
11	ファイナルプレゼンテーションを作る
12	ファイナルプレゼンテーションを作る

1 3	ファイナルプレゼンテーションを作る
1 4	ファイナルプレゼンテーション練習
1 5	期末試験対策
1 6	期末試験
1 7	試験説明、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0110	科目名	日本語講座		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	講義	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	選択必修
教科書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリント教材		
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

### 1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

### 2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

### 3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション、事前アンケート
2	レベルチェックテスト（言語知識） 実戦ドリル 1.自動詞・他動詞／1.助詞①
3	レベルチェックテスト（聴解） 実戦ドリル 2.複合動詞①／2.助詞②
4	「ドリル&模試」第1回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 3.複合動詞②／3.接続表現①、宿題：Quizlet 漢字1週目
5	「ドリル&模試」第2回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 4.する動詞／4.接続表現②、宿題：Quizlet 漢字2週目
6	「ドリル&模試」第3回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身、宿題：Quizlet 漢字3週目
7	「ドリル&模試」第4回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 6.い形容詞／6.文末表現、宿題：Quizlet 漢字4週目
8	「ドリル&模試」第5回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 7.な形容詞／7.敬語①尊敬語、宿題：Quizlet 漢字5週目
9	中間テスト
10	「ドリル&模試」第6回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 8.対義語①／8.敬語②謙譲語、宿題：Quizlet 漢字6週目
11	「ドリル&模試」第7回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語、宿題：Quizlet 漢字7週目
12	「ドリル&模試」第8回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 10.副詞／10.敬語④、宿題：Quizlet 漢字8週目
13	「ドリル&模試」第9回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 11.擬音語・擬態語、宿題：Quizlet 漢字1～4週目
14	「ドリル&模試」第10回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 12.カタカナ語① 13.カタカナ語②、宿題：Quizlet 漢字5～8週目
15	第1～10回文字・語彙・文法練習復習（まとめの問題）、読解（読む・書く活動） 実戦ドリルまとめ
16	期末テスト

17	Can-do 自己評価チェック、追再試
後期	
1	レベルチェックテスト
2	「ドリル&模試」第11回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 宿題：1.漢字読み・表記／1.文の文法1、Quizlet 語彙1週目
3	「ドリル&模試」第12回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 宿題：2.漢字読み・表記／2.文の文法1、Quizlet 語彙2週目
4	「ドリル&模試」第13回文字・語彙・文法練習問題、（聞く・話す活動） 宿題：3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法2、Quizlet 語彙3週目
5	「ドリル&模試」第14回文字・語彙・文法練習問題、（読む・書く活動） 宿題：4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法2、Quizlet 語彙4週目
6	「ドリル&模試」第15回文字・語彙・文法練習問題、（聞く・話す活動） 宿題：5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法3、Quizlet 語彙5
7	「ドリル&模試」文字語彙文法まとめの問題、（読む・書く活動） 宿題：6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法3、Quizlet 語彙6週目
8	中間テスト
9	JLPT 試験対策問題、（聞く・話す活動） 宿題：7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ、Quizlet 語彙7週目
10	JLPT 試験対策問題、（読む・書く活動） 宿題：8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ、Quizlet 語彙8週
11	JLPT 試験対策問題、（聞く・話す活動） 宿題：9.用法（形容詞・副詞）、Quizlet 語彙1～4週
12	JLPT 試験対策問題、（読む・書く活動） 宿題：10.用法（形容詞・副詞）、Quizlet 語彙5～8週
13	総合問題、総合演習、プロジェクトワーク（読む・書く・聞く・話す活動）
14	総合問題、総合演習、プロジェクトワーク（読む・書く・聞く・話す活動）
15	総合問題、総合演習、プロジェクトワーク（読む・書く・聞く・話す活動）
16	期末テスト
17	Can-do 自己評価チェック、追再試

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0108	科目名	一般教養講座 I		科目区分	兼任	
科目群	一般教養	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	各授業でプリント配布			参考書			
成績評価	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%						

### 1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

### 2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

### 3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2次方程式の活用	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次関数	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 $y = a \times 2$	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
15	漢字：まとめ①	数学：まとめ①	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

学 科 名	クロスメディア情報学科
-------	-------------

科目番	0109	科目名	一般教養講座Ⅱ	科目区	兼任
科目群	一般教養	担当講師	菅野敬祐・麻生裕之	履修区	選択
開講学	1年	開講学期	後期	単位数	2
授業形	各授業でプリント配布			参考書	講義
成績評	各課題提出 60%、課題の点数 30%、授業への貢献度 20%				

1. 授業概要

過去に学習した範囲の数学と漢字の復習し理解を深める。また、就職試験に必要な基礎学力を身に付ける。授業は演習形式で、各回オリジナルの課題で行う。

2. 到達目標

授業に必要な基礎学力の向上を図り、授業での理解度や予習・復習が出来るようになる。また、新聞記事を読んで設問に答えられる一般教養面も向上させる。

3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2次方程式の解き方	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2次方程式の利用	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数 $y = a x^2$ ・グラフ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
15	漢字：まとめ①	数学：まとめ①	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

## 科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0110	科目名	日本語講座		科目区分	専任	
科目群	一般教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書			
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

### 1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。

### 2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

### 3. 授業計画

前期	
1	漢字・語彙・文法（1.自動詞・他動詞／1.助詞①）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.複合動詞①／2.助詞②）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.複合動詞②／3.接続表現①）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.する動詞／4.接続表現②）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.い形容詞／6.文末表現）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.な形容詞／7.敬語①尊敬語）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.対義語①／8.敬語②謙讓語）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.副詞／10.敬語④）、読解問題
12	漢字・語彙・文法（11.擬音語・擬態語／JLPT 対策問題）
13	漢字・語彙・文法（12.カタカナ語①／JLPT 対策問題）
14	漢字・語彙・文法（13.カタカナ語②／JLPT 対策問題）
15	期末テスト
16	JLPT 対策講座
17	作文練習
後期	
1	漢字・語彙・文法（1.漢字読み・表記／1.文の文法1）、聴解問題
2	漢字・語彙・文法（2.漢字読み・表記／2.文の文法1）、読解問題
3	漢字・語彙・文法（3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法2）、聴解問題
4	漢字・語彙・文法（4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法2）、読解問題
5	漢字・語彙・文法（5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法3）、聴解問題
6	漢字・語彙・文法（6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法3）、読解問題
7	中間テスト
8	漢字・語彙・文法（7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ）、聴解問題
9	漢字・語彙・文法（8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ）、読解問題
10	漢字・語彙・文法（9.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、聴解問題
11	漢字・語彙・文法（10.用法（形容詞・副詞）／JLPT 対策問題）、読解問題
12	総合問題



13	総合問題
14	総合問題
15	期末テスト
16	グループワーク①
17	グループワーク②

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」						学 科 名	クロスメディア情報学科
科目番号	0111	科目名	海外研修			科目区分	
科目群	一般教養	担当講師	校長			履修区分	選択
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	無し			参考書	無し		
成績評価	報告書 100%						

### 1. 授業概要

年度末の3月に海外へ10日間の語学研修を実施

### 2. 到達目標

知識見聞を広め、グローバル社会を理解する。

### 3. 授業計画

後期	
1	<p><b>【研修内容】</b> 前年度実績 変更有</p> <p>渡航予定地 オーストラリア アデレード</p> <p>研修先 ENGLISH COLLEGE OF ADELAIDE</p> <p>語学研修時間 9:00~16:00 6時間×5日間 のべ30時間</p> <p>宿泊 9日間 ホストファミリー宅</p> <p>単位認定に係わる認定時間 語学研修 30時間 文化交流 90時間 120時間</p> <p>学校としての成績評価 評価は報告書内容による</p> <p>学校としての単位認定基準 帰国後3週間以内に報告を提出した者 認定単位 2単位</p>

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0112	科目名	国際コミュニケーションゼミ		科目区分	専任	
科目群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	演習	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	選択
教科書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリント教材		
成績評価	試験 70%、小テスト 10%、提出物 10%、授業への貢献度 10%						

### 1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。1年次の日本語講座からさらにレベルアップと JLPT 対策の目的で、ワンランク上クラスでの日本語講座を受講。また、学科の専門授業についていけるためのアカデミックスキルを養う。

### 2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

### 3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション、事前アンケート
2	レベルチェックテスト（言語知識） 実戦ドリル 1.自動詞・他動詞／1.助詞①
3	レベルチェックテスト（聴解） 実戦ドリル 2.複合動詞①／2.助詞②
4	「ドリル&模試」第1回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 3.複合動詞②／3.接続表現①、宿題：Quizlet 漢字1週目
5	「ドリル&模試」第2回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 4.する動詞／4.接続表現②、宿題：Quizlet 漢字2週目
6	「ドリル&模試」第3回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 5.意味のある動詞／5.受身・使役・使役受身、宿題：Quizlet 漢字3週目
7	「ドリル&模試」第4回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 6.い形容詞／6.文末表現、宿題：Quizlet 漢字4週目
8	「ドリル&模試」第5回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 7.な形容詞／7.敬語①尊敬語、宿題：Quizlet 漢字5週目
9	中間テスト
10	「ドリル&模試」第6回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 8.対義語①／8.敬語②謙譲語、宿題：Quizlet 漢字6週目
11	「ドリル&模試」第7回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 9.対義語②／9.敬語③丁寧語・美化語、宿題：Quizlet 漢字7週目
12	「ドリル&模試」第8回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 実戦ドリル 10.副詞／10.敬語④、宿題：Quizlet 漢字8週目
13	「ドリル&模試」第9回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 実戦ドリル 11.擬音語・擬態語、宿題：Quizlet 漢字1～4週目
14	「ドリル&模試」第10回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（聞く・話す活動）

	実戦ドリル 12.カタカナ語① 13.カタカナ語②、宿題：Quizlet 漢字 5～8 週目
1 5	第 1～10 回文字・語彙・文法練習復習（まとめの問題）、読解（読む・書く活動） 実戦ドリルまとめ
1 6	期末テスト
1 7	Can-do 自己評価チェック、追再試
後期	
1	レベルチェックテスト
2	「ドリル&模試」第 11 回文字・語彙・文法練習問題、聴解問題（聞く・話す活動） 宿題：1.漢字読み・表記／1.文の文法 1、Quizlet 語彙 1 週目
3	「ドリル&模試」第 12 回文字・語彙・文法練習問題、読解問題（読む・書く活動） 宿題：2.漢字読み・表記／2.文の文法 1、Quizlet 語彙 2 週目
4	「ドリル&模試」第 13 回文字・語彙・文法練習問題、（聞く・話す活動） 宿題：3.文脈規定（動詞・名詞）／3.文の文法 2、Quizlet 語彙 3 週目
5	「ドリル&模試」第 14 回文字・語彙・文法練習問題、（読む・書く活動） 宿題：4.文脈規定（形容詞）／4.文の文法 2、Quizlet 語彙 4 週目
6	「ドリル&模試」第 15 回文字・語彙・文法練習問題、（聞く・話す活動） 宿題：5.言い換え類義（動詞・名詞）／5.文章の文法 3、Quizlet 語彙 5
7	「ドリル&模試」文字語彙文法まとめの問題、（読む・書く活動） 宿題：6.言い換え類義（形容詞・副詞）／6.文章の文法 3、Quizlet 語彙 6 週目
8	中間テスト
9	JLPT 試験対策問題、（聞く・話す活動） 宿題：7.用法（動詞・名詞）／7.文法形式まとめ、Quizlet 語彙 7 週目
1 0	JLPT 試験対策問題、（読む・書く活動） 宿題：8.用法（動詞・名詞）／8.文法形式まとめ、Quizlet 語彙 8 週
1 1	JLPT 試験対策問題、（聞く・話す活動） 宿題：9.用法（形容詞・副詞）、Quizlet 語彙 1～4 週
1 2	JLPT 試験対策問題、（読む・書く活動） 宿題：10.用法（形容詞・副詞）、Quizlet 語彙 5～8 週
1 3	総合問題、総合演習、プロジェクトワーク（読む・書く・聞く・話す活動）
1 4	総合問題、総合演習、プロジェクトワーク（読む・書く・聞く・話す活動）
1 5	総合問題、総合演習、プロジェクトワーク（読む・書く・聞く・話す活動）
1 6	期末テスト
1 7	Can-do 自己評価チェック、追再試

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0113	科目名	社会人教養講座 I		科目区分	兼任	
科目群	教養	担当講師	天野 誠一		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	使用しない			参考書	配布資料		
成績評価	課題提出、授業態度他						

### 1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一步を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

### 2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

### 3. 授業計画

前期	
1	2021年とはどういう年か。世界の人口は78億人だが、日本をはじめ先進国は人口減少時代
2	働き方改革とは何か 働くことの意味、仕組みを学んでいく。
3	厚生労働省のテキスト1
4	厚生労働省のテキスト2
5	厚生労働省のテキスト3
6	厚生労働省のテキスト4
7	厚生労働省のテキスト5
8	厚生労働省のテキスト6
9	厚生労働省のテキストまとめ
10	社会の仕組み 雇用保険 健康保険
11	ブラック企業とは何か
12	危機管理の重要性
13	個人情報とは何か
14	ハラスメントはどこにでもある
15	新聞報道と民主主義
16	消費者教育「社会への扉」1
17	消費者教育「社会への扉」2

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学科名	クロスメディア情報学科
科目番	0114	科目名	社会人教養講座Ⅱ	科目区分	兼任
科目群	教養	担当講師	天野 誠一	履修区分	選択
開講学	1年	開講学期	後期	単 位	2
教科書	使用しない		参 考	配布資料	
成績評	課題提出その他				

### 1. 授業概要

世界を震撼させたコロナ禍は、なお衰えておらず、現代の社会のあり方に変革を迫っている。これから社会人としての一步を踏み出す学生の皆さんは、特に、コロナ禍に伴う社会構造の急激な変化について正しい知識と冷静な判断力が求められている。ネット社会の弱さ・危険性を踏まえ、私たちは、どう生きていけばいいのか、一緒に考えていきたい。

講師の読売新聞社中部支社での新聞記者としての知識と経験を通して、社会の情勢や時事問題など講義と共に、実践的な文書作成の知識などから学ぶ。

### 2. 到達目標

自分を見つめ、自分の目指す方向をしっかりと定め、自分自身の方法で表現していく。仕事、友人、家族との関係を手がかりに、社会に参画する方法を見つけ出していく。

### 3. 授業計画

後期	
1	人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方
2	自分を表現する。自己紹介 エントリーシート、ポケット
3	作文のやさしい書き方 入門
4	レポート メモ 手紙
5	自己アピールのポイント 古里 趣味 家族
6	会社の選び方
7	いい会社と悪い会社 会社選びの10割
8	面接をする側の気持ち、される側の気持ち
9	作文のやさしい書き方 応用編
10	社会の仕組み 年金 税金
11	失敗から学ぶ ミスの原因
12	コロナ禍と各国の対応 どのように生きるか
13	自分の国をどうアピールするか
14	情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
15	全体まとめ
16	最低限身に付けるべき金融リテラシー1
17	最低限身に付けるべき金融リテラシー2

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0201	科 目 名	情報システム概論 I		科目区分	専任	
科 目 群	専門科目	担当講師	増田孝博		履修区分	講義	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	ここから始める IT パスポート		参考書				
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期テスト成績						

### 1. 授業概要

コンピュータの基本的な仕組みについて理解する

### 2. 到達目標

情報分野の基礎力をつける。さらに IT パスポート試験取得に向けた知識の取得を目標とする。

### 3. 授業計画

前期	
1	コンピュータシステムとは
2	コンピュータの五大要素
3	プロセッサ
4	メモリ
5	インタフェース
6	基礎理論
7	データの表現 2進数
8	中間考査
9	2進数の加算・減算・補数表現
10	ソフトウェア
11	OS
12	ファイルシステム
13	システム構成
14	ネットワークプロトコル OSI 7階層モデル
15	ネットワークプロトコル TCP/IP モデル
16	ネットワークセキュリティ 暗号化技術
17	期末考査

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0202	科 目 名	情報システム概論Ⅱ		科目区分	専任	
科 目 群	専門科目	担当講師	増田孝博		履修区分	講義	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	必修
教 科 書	ここから始める IT パスポート		参考書				
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期試験						

### 1. 授業概要

情報セキュリティやネットワーク、データベースの概要を学ぶ
------------------------------

### 2. 到達目標

情報分野の基礎力をつける。さらに IT パスポート試験取得に向けた知識の習得を目標とする。
---

### 3. 授業計画

後期	
1	前期の復習
2	情報セキュリティマネジメント
3	脅威と対策
4	マルチメディア
5	ヒューマンインタフェース
6	ネットワーク機器 1層
7	ネットワーク機器 2層
8	中間試験
9	ネットワーク機器 3層
10	ネットワーク機器 無線技術
11	アルゴリズム ソート
12	アルゴリズム 選択ソート
13	アルゴリズム バブルソート
14	システム開発
15	ソフトウェア開発工程
16	著作権
17	期末試験



科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0203	科 目 名	Web 基礎 I		科目区分	専任	
科 目 群	専門科目	担当講師	増田孝博		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応 エキスパート 公式 テキスト			参考書			
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期試験、提出作品						

### 1. 授業概要

Web コンテンツ制作の基本となる HTML・CSS の記述方法を学び、コーディングスキルを習得する。

### 2. 到達目標

データを整理し HTML・CSS を用いて Web コンテンツを作成することができるようになる。

### 3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス World Wide Web 技術とは？
2	HTML の文法理解
3	HTML タグの利用について
4	HTML による文書構造 段落 見出し
5	画像の利用
6	CSS によるスタイルの記述方法
7	CSS セレクタ クラス ID タグの再定義について
8	中間考査
9	自己紹介・プロフィール作成 Web ページ制作実習 1
10	自己紹介・プロフィール作成 Web ページ制作実習 2
11	ブロック要素 インライン要素の違い
12	CSS によるブロックレイアウト
13	マージン パディング ボーダー によるサイズ調整
14	クライアントサイドプログラミング
15	演習課題 ポートフォリオの作成
16	演習課題 ポートフォリオの作成
17	期末考査

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0204	科目名	Web 基礎Ⅱ		科目区分	専任	
科目群	専門科目	担当講師	増田孝博		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教科書				参考書			
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期試験、提出作品						

### 1. 授業概要

JavaScript を使った動的な Web ページの作成方法を学ぶ

### 2. 到達目標

enchant.js などライブラリ活用法を習得し、UI を考慮し、API を利用した Web ゲーム開発ができるようになる。

### 3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス クライアントサイドスクリプトとは
2	JavaScript の利用法 <script>
3	JavaScript シンタックス
4	変数の利用 var 変数
5	分岐・繰り返し処理 if/for
6	Function の利用
7	イベント処理
8	DOM : Document Object Model
9	Document.getElementById ()
10	席替えアプリ制作 アルゴリズム演習
11	HTML5 グラフィック系 API
12	API の活用方法 1
13	API の活用方法 2
14	実習：ブラウザゲーム制作
15	実習：ブラウザゲーム制作
16	制作発表
17	制作発表

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0205	科 目 名	プログラミング I		科目区分	専任 実務教員	
科 目 群	専門科目	担当講師	青山留美		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	本格学習 Java 入門 改訂3版		参考書				
成績評価	平常点 25%、定期試験（中間 35%・期末 35%）、授業の課題 5%						

### 1. 授業概要

Java 言語によるオブジェクト指向プログラミングを学ぶ

### 2. 到達目標

プログラム言語「Java」を通じてプログラミングの基礎を身につけ、プログラミングする際の問題解決手順であるアルゴリズムも同時に習得する。

### 3. 授業計画

前期	
1	イントロダクション 第1章 プログラミング言語 Java 開発環境 JDK のインストール
2	第2章 JShell による Java プログラミング体験 プログラムの基本
3	第3章 型と変数 基本型
4	第3章 型と変数 変数 配列
5	第4章 演算子 代入演算子 算術演算子
6	第4章 演算子 比較演算子 論理演算子 2進数
7	中間試験
8	第5章 条件判断 if else eclipse のインストール
9	第5章 条件判断 switch
10	第6章 繰り返し for
11	第6章 繰り返し while
12	第7章 メソッド プログラムの実行
13	第7章 メソッド main メソッド メソッドの書き方 引数
14	第7章 メソッド 戻り値
15	第8章 クラス 期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0206	科目名	プログラミングⅡ		科目区分	専任 実務教員	
科目群	専門科目	担当講師	青山留美		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	演習
教科書	本格学習 Java 入門 改訂 3 版		参考書				
成績評価	平常点 25%、定期試験（中間 35%）、授業の課題 5%、最終課題 35%						

### 1. 授業概要

プログラミング言語 Java を用いてプログラミングの基礎を学ぶ。担当講師が実務教員としてこれまでの開発経験で培った、java のプログラミング方法や作法を学生に伝える。

### 2. 到達目標

プログラム言語「Java」を通じてプログラミングの基礎を身につけ、プログラミングする際の問題解決手順であるアルゴリズムも同時に習得する。

### 3. 授業計画

後期	
1	第 7 章 メソッドの復習 プログラムの入力と実行、メソッドの基本、引数と戻り値
2	メソッドの復習続き オーバーロード、メソッド呼び出し
3	第 8 章 クラス オブジェクト、インスタンス、コンストラクタ
4	クラス+α 三匹の子豚を題材にクラスを作成する
5	クラスの続き クラスの継承、ラッパークラス、パッケージ
6	クラスの続き static 修飾子、アクセス修飾子 中間試験範囲の復習
7	中間試験
8	第 9 章 例外処理 例外の種類と補足、例外クラスの作成方法
9	第 10 章 データの入出力 コマンドライン引数、Scanner のデータ入力、ファイルへの入出力第
10	11 章 マルチスレッド シングルとマルチの違い。 スレッドクラスの継承と Runnable インタフェースを使ったマルチスレッド化及び同期について
11	第 12 章 ネットワークプログラミング ネットワークインターフェースやアドレス、ポート番号、ソケットなど用語の解説と通信の仕組み クライアントとサーバのプログラムを作成して通信する。
12	ネットワークの続き プログラムを改良し複数クライアントに対応
13	13 章 GUI とイベント処理 Swing で Java の GUI 作成、レイアウト、イベント処理について理解する
14	イベント処理の続き アニメーション作成
15	期末向け振り返り問題
16	期末試験
17	最終課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0208	科 目 名	Web デザイン概論		科目区分	専任	
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応エキスパート公式テキスト		参考書				
成績評価	平常点 10%、定期試験 60%、発表・提出課題 30%						

### 1. 授業概要

Web デザイン制作において関連する用語やデザインする際に考えるべき効果的な 色・形・文字・レイアウトなどについての基礎的な知識を学習し、それをベースに Web サイト制作演習に活かす。

### 2. 到達目標

Web デザインに関する用語や内容を学び、実習制作に活かすことができる

### 3. 授業計画

前期	
1	Web デザイン用語説明、色や配色についての考察
2	Web デザイン用語説明、色や配色についての考察
3	Web デザイン用語説明、色や配色についての考察
4	Web サイトの主な名称・用途 Web サイトカラーの研究。
5	サイトの基調色（ベースカラー）、アクセントカラー、色の配分と調和
6	形・レイアウトについて（形の特徴を活かし視線を誘導するデザイン等）
7	中間試験
8	形・レイアウトについて（形の特徴を活かし視線を誘導するデザイン等）
9	形・レイアウトについて（形の特徴を活かし視線を誘導するデザイン等）
10	書体について（書体の持つ印象と効果） アイコン・書体について（Web フォント・Web アイコンフォント）
11	書体について（書体の持つ印象と効果） アイコン・書体について（Web フォント・Web アイコンフォント）
12	アクセシビリティ・ユーザビリティについて
13	アクセシビリティ・ユーザビリティについて
14	Web サイトのファイル構成
15	期末試験対策
16	期末試験
17	課題提出、試験解説

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0208	科目名	Web デザイン演習 I		科目区分	専任 実務教員	
科目群	専門科目	担当講師	菊川陽子		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教科書	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応エキスパート公式 テキスト			参考書			
成績評価	平常点 10%、定期試験 60%、発表・提出課題 30%						

### 1. 授業概要

Web デザイン制作に関連する画像編集グラフィックソフト Photoshop の基本操作を習得し画像素材を作成。Dreamweaver を使用し、Web ページの基本の html5、CSS コーディングを習得する。

### 2. 到達目標

写真素材等を WEB 掲載用に加工、Web サイトのパーツ、アイコン等の作成ができ、基本的な WEB ページのコーディングができる

### 3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス 基礎知識と用語確認(ビットマップとベクトル、ファイル形式、単位等) Photoshop 基本操作(選択範囲作成ツール・クイックマスク・レイヤーマスク・アルファチャンネル等)、画像合成
2	Photoshop 基本操作 画像の合成(レイヤーマスク) 文字操作
3	Photoshop 基本操作 写真の合成、バナー制作
4	Photoshop 基本操作 写真の修整、バナー制作
5	Photoshop 基本操作 写真リサイズ・トリミング ペンツールを使用してアイコンを作成
6	Photoshop パーツの作成 (タイトル画像・ナビゲーション用ボタン画像等を作成する)
7	中間試験
8	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
9	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
10	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
11	Dreamweaver-CSS 基本 (CSS プロパティと値について)
12	Dreamweaver-CSS 基本 (CSS プロパティと値について)
13	Dreamweaver-マークアップした html ファイルにスタイルシートを使用してレイアウトする
14	Dreamweaver-マークアップした html ファイルにスタイルシートを使用してレイアウトする
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0209	科 目 名	Web デザイン演習Ⅱ		科目区分	専任 実務教員	
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教科書	フレキシブルボックスで作る HTML5&CSS3 レッスンブッ ク			参考書			
成績評価	平常点 20%、定期試験 40%、提出課題 40%						

### 1. 授業概要

html・CSS 基本知識、Dreamweaver の基本操作習得とレスポンシブ Web デザインについて学ぶ
---

### 2. 到達目標

前期～後期を通して学んだ画像の編集・作成からレイアウトを考えコーディングし、基本的な WEB ページのデザイン作成とコーディングができる
--

### 3. 授業計画

後期	
1	入力フォームページ作成／レスポンシブ Web デザイン
2	入力フォームページ作成・テーブルによるフォームレイアウト／レスポンシブ Web デザイン
3	横並びカラムレイアウト (flex、インラインブロック)／レスポンシブ Web デザイン
4	横並びカラムレイアウト (flex、インラインブロック)／レスポンシブ Web デザイン
5	CSS position・overflow・iframe について／レスポンシブ Web デザイン
6	Photoshop ベクトルマスク～商品一覧ページ作成／レスポンシブ Web デザイン
7	中間試験
8	Photoshop ベクトルマスク～商品一覧ページ作成／レスポンシブ Web デザイン
9	CSS アニメーション／レスポンシブ Web デザイン
10	レスポンシブ Web デザイン
11	レスポンシブ Web デザイン
12	ポートフォリオサイト制作
13	ポートフォリオサイト制作
14	ポートフォリオサイト制作
15	ポートフォリオサイト制作 課題発表・提出 (期末課題)
16	講評
17	講評

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0210	科 目 名	グラフィック基礎		科目区分	専任	
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教科書	なし			参考書	配布資料(随時)		
成績評価	平常点 10%、定期試験 45%、提出課題 45%						

### 1. 授業概要

Illustrator の基本操作を身につける。基礎造形では色彩の基礎知識、イメージを具象化するための描写力を学び、制作に応用できる表現力を学ぶ。

### 2. 到達目標

Web やアプリ、印刷やムービー等、様々なメディアのコンテンツに応用できるグラフィックの制作ができる

### 3. 授業計画

前期	
1	【Illustrator】ベクトルとビットマップ、色(RGBとCMYK)について、塗りと線、基本図形ツール 配色、重ね順、基本図形の描き方、直線描画 ※基本図形を使ったイラスト 【基礎造形】色について/色の三原色 実習・塗り分けによる構成を制作し、構成の意味を理解する
2	【Illustrator】ベジェ曲線による描画 【基礎造形】色について/色の三原色 実習・塗り分けによる構成を制作し、構成の意味を理解する
3	【Illustrator】パスファインダー、整列、回転、リフレクト、レイヤー ※時計のデザイン制作 【基礎造形】色について/色相・彩度・明度を理解する
4	【Illustrator】グラデーション、ブレンド、アピアランスの概念 【基礎造形】色について/色相・彩度・明度を理解する
5	【Illustrator】文字の操作、ボーダー、地図作成 【基礎造形】配色(同時対比 隣り合う色の影響)
6	【Illustrator】地図作成 【基礎造形】配色(同時対比 隣り合う色の影響)
7	中間試験
8	【Illustrator】WEB用素材やイメージ制作 【基礎造形】色彩構成課題
9	【Illustrator】WEB用素材やイメージ制作 【基礎造形】色彩構成課題
10	【Illustrator】印刷物制作 【基礎造形】色彩構成課題
11	【Illustrator】印刷物制作 【基礎造形】ドローイング・基本形体の描写:立方体・円筒)
12	【Illustrator】キャラクターデザイン制作 【基礎造形】ドローイング・基本形体の描写:立方体・円筒)
13	【Illustrator】キャラクターデザイン制作 【基礎造形】ドローイング・基本形体の描写:立方体・円筒)
14	【Illustrator】キャラクターデザイン制作 【基礎造形】ドローイング・自分の持ち物
15	期末試験対策・課題制作
16	期末試験・課題提出
17	講評



## 科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0211	科 目 名	デジタルフォト		科目区分	兼任	
科 目 群	専門科目	担当講師	坂上恒之		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教科書	写真の教科書(株)インプレス		参考書 配布資料(随時)				
成績評価	平常点 %、定期試験 %、提出課題 %						

### 1. 授業概要

撮影現場の経験と写真加工の実際、現場における写真の重要性を学ぶ。

### 2. 到達目標

一眼レフカメラで Web ページで使用する写真の撮影ができる。Photoshop による写真の加工ができる。

### 3. 授業計画

前期	
1	カメラの基礎構造
2	絵作りの基礎(構図等)
3	画像編集ソフトの使い方
4	校外撮影実習
5	データ仕上げ(提出課題)講評
6	商品撮影実習
7	データ仕上げ(提出課題)講評
8	中間試験 筆記 実技
9	人物撮影(大型ストロボに慣れる)ライティング
10	人物データをまとめる
11	PhotoShop でのデータ加工
12	レイアウトの基礎知識
13	校外撮影実習
14	データ仕上げ提出課題 講評
15	課題作成2提出/期末試験対策
16	期末試験
17	課題講評

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0212	科 目 名	動画編集		科目区分	兼任	
科 目 群	専門科目	担当講師	大和 拓		履修区分	選択必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	演習
教科書				参考書	配布資料(随時)		
成績評価	平常点 40%、定期試験 30%、提出課題 30%						

### 1. 授業概要

主に After Effects を使って短い動画を作り、ストリーミング配信用のコンテンツ作りの基本を学習する

### 2. 到達目標

After Effects、Adobe Premiere を使用し基本的なアニメーションの作成・動画編集とその操作ができるようになる。

### 3. 授業計画

前期	
1	After Effects の基本操作解説。
2	時計を回してみる。
3	踊る名前。
4	観覧車をデザインしてみよう。
5	観覧車を回してみる。
6	走る動物をデザインする。
7	動物を走らせる。(中間課題提出)
8	惑星と衛星。
9	直方体を組み立てる。
10	架空のテレビ番組の企画を作ろう。
11	架空のテレビ番組のオープニングを作ろう。
12	架空のテレビ番組のオープニングを作ろう続き。
13	How Too ムービーを編集する練習。
14	How Too ムービーを作る。
15	コマドリアニメーションを作る。
16	期末試験
17	期末試験講評

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」				学 科 名	クロスメディア情報学科
科目番号	0213	科 目 名	資格対策 I	科目区分	専任
科 目 群	総合科目	担当講師	増田・青山・菊川	履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2
教 科 書	IT パスポート		参考書:		
成績評価	提出課題、授業貢献度 各試験、				

### 1. 授業概要

経済産業省に認定資格である『IT パスポート試験』の取得を目指す対策講座。過去問を中心に解かせ、学生個々の弱点を見つけ出して対策をする。就職試験（SPI・CAB・GAB）対策

### 2. 到達目標

『IT パスポート試験』に合格する実力をつける。

### 3. 授業計画

前期	
1	【コンピュータシステム】ハード 1～6
2	【コンピュータシステム】ハードウェア
3	【コンピュータシステム】ソフトウェア
4	【コンピュータシステム】システム構成
5	IT パス（ネットワーク）
6	IT パス（情報セキュリティ）
7	中間試験（IT パスポート模擬試験）
8	平成30年春季問題
9	平成31年秋季問題
10	平成32年春季問題
11	令和元年秋季問題
12	令和2年春季問題
13	直前模擬試験（中間を除く 65 問）
14	直前模擬試験（中間を除く 65 問）
15	期末考查対策（IT パスポート予想問題から）
16	期末考查
17	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0213	科 目 名	資格対策Ⅱ		科目区分	専任	
科 目 群	総合科目	担当講師	増田・青山・菊川		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	IT パスポート			参考書:			
成績評価	提出課題、授業貢献度 各試験、						

### 1. 授業概要

経済産業省に認定資格である『IT パスポート試験』の取得を目指す対策講座。過去問を中心に解かせ、学生個々の弱点を見つけ出して対策をする。就職試験（SPI・CAB・GAB）対策

### 2. 到達目標

『IT パスポート試験』に合格する実力をつける。

### 3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス
2	国家資格の種類と各種ベンダー資格について
3	確認問題
4	国家資格対策 【ストラテジー】
5	国家資格対策 【ストラテジー】
6	国家資格対策 【ストラテジー】
7	国家資格対策 【ストラテジー】
8	国家資格対策 【テクノロジー】
9	国家資格対策 【テクノロジー】
10	国家資格対策 【テクノロジー】
11	国家資格対策 【テクノロジー】
12	国家資格対策 【マネジメント】
13	国家資格対策 【マネジメント】
14	国家資格対策 【マネジメント】
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	216	科 目 名	システム開発ゼミ		科目区分	専任	
科 目 群	専門科目	担当講師			履修区分	選択	
開講学年	2	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点 30% 提出物 70%						

### 1. 授業概要

システム開発を企画から開発、試験運用、発表までを通年でおこなう。

### 2. 到達目標

現状の課題を克服するために必要とされるシステムを、企画から開発、発表まで行うことで、実践力を身につける。

### 3. 授業計画

前期	
1	企画立案
2	企画立案
3	企画書制作
4	企画書制作
5	要件定義
6	要件定義
7	仕様書作成
8	仕様書作成
9	企画発表
10	プログラム仕様計画
11	プログラム仕様作成
12	プロトタイピング
13	プロトタイピング
14	プロトタイピング
15	プロトタイピング
16	プロトタイピング
17	中間発表
後期	
1	問題提起
2	仕様確認
3	システム再設計
4	開発・テスト
5	開発・テスト
6	開発・テスト
7	開発・テスト
8	開発・テスト
9	開発・テスト
10	開発・テスト
11	開発・テスト
12	開発・テスト

1 3	開発・テスト
1 4	発表資料準備
1 5	発表資料準備
1 6	発表リハーサル
1 7	成果発表

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0215	科 目 名	クロスメディアゼミナール		科目区分	専任	
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	講義
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点 10%、課題 60%、レポート 30%						

### 1. 授業概要

メディアやアートとテクノロジーなどを組み合わせたコンテンツについて調べ、レポートし、クラス内で情報を共有してコンテンツを体験する。実際の体験から感じたことに重点を置き、発想から創造を学ぶ。

### 2. 到達目標

デジタル技術に異なるものをプラスし発想し、身近にあるものを新たなアイデアへと創造する力をつける。

### 3. 授業計画

前期	
1	映像含んだ技術による事例紹介 プロジェクションマッピングに見る過疎化した村の村おこしと可能性 気になる IT 技術についてのレポート
2	異種の組み合わせによる発想紹介 (テクノロジー×野菜×音 ベビーカーとスマートフォン 他)AR (ギャラリーにおける AR 利用 商品カタログ AR 利用 他) 気になる IT 技術についてのレポート
3	気になる IT 技術についてのレポート 発表
4	展示見学
5	展示見学レポート制作
6	展示見学レポート発表
7	インタラクティブグラフィックス紹介(プロセッシング等)
8	インタラクティブグラフィックス紹介(プロセッシング等)
9	ムービー制作 (テーマに沿ったショートムービーの制作①:遠近・奥行・立体感)
10	ムービー制作
11	ムービー制作 発表
12	ムービー制作 (テーマに沿ったショートムービーの制作②:額縁 ムービーに分岐をつける)
13	ムービー制作
14	ムービー制作 発表
15	最終課題作成 (自由テーマ)
16	最終課題作成
17	最終課題発表・提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	216	科 目 名	システム開発ゼミ		科目区分	専任 兼任	
科 目 群	専門科目	担当講師			履修区分	選択	
開講学年	2	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書				参考書			
成績評価	平常点 30% 提出物 70%						

### 1. 授業概要

システム開発を企画から開発、試験運用、発表までを通年でおこなう。

### 2. 到達目標

現状の課題を克服するために必要とされるシステムを、企画から開発、発表まで行うことで、実践力を身につける。

### 3. 授業計画

前期	
1	企画立案
2	企画立案
3	企画書制作
4	企画書制作
5	要件定義
6	要件定義
7	仕様書作成
8	仕様書作成
9	企画発表
10	プログラム仕様計画
11	プログラム仕様作成
12	プロトタイピング
13	プロトタイピング
14	プロトタイピング
15	プロトタイピング
16	プロトタイピング
17	中間発表
後期	
1	問題提起
2	仕様確認
3	システム再設計
4	開発・テスト
5	開発・テスト
6	開発・テスト
7	開発・テスト
8	開発・テスト
9	開発・テスト
10	開発・テスト
11	開発・テスト
12	開発・テスト



1 3	開発・テスト
1 4	発表資料準備
1 5	発表資料準備
1 6	発表リハーサル
1 7	成果発表

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0301	科 目 名	モバイルプログラミング		科目区分	専任 実務教員	
科 目 群	総合科目	担当講師	青山留美		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	なし			参考書	Android アプリ開発の教科書		
成績評価	平常点 20%、定期試験 30%、授業課題 10%、期末課題 40%						

### 1. 授業概要

Android アプリの制作を通してモバイルアプリの基礎を学ぶ。担当する講師のプログラマとしての経験を活かし、柔軟な考えで指導が可能。新しいことに取り組むことの楽しさを学生に伝えている。

### 2. 到達目標

Android アプリの制作を通してモバイルアプリの基礎と Android Studio の使い方を学ぶ

### 3. 授業計画

前期	
1	モバイル OS の基本知識と環境構築 (Android Studio のインストール)
2	Android Studio の概要と使い方 画面部品サンプルアプリを作成
3	イベントとリスナーについて ボタンタップイベントのサンプル作成 リストビューについて
4	Android のダイアログについて サンプルを作成し使い方を学ぶ
5	ConstraintLayout についてサンプルを作成しツールの使い方を学ぶ
6	多言語対応アプリを作る 中間試験の範囲を復習
7	中間試験
8	Android アプリのライフサイクルとインテントとログレベルについて学ぶ
9	MediaPlayer クラスを使ったサンプルでメディア再生について学ぶ
10	Kotlin の特徴と文法
11	Kotlin でアプリを作る メニュー決めアプリ
12	カメラとの連携 実機デバッグ及びアプリケーションのビルドについて
13	アプリの公開方法を学ぶ
14	クロスプラットフォームのアプリ開発 1 cordova の環境設定
15	クロスプラットフォームのアプリ開発 2 cordova を使ったサンプル作成
16	最終課題作成 (テーマを決める。複数ページ、他機能(ブラウザ)起動ボタン、画像と文字の表示を実装したものを作る)
17	最終課題作成の続き

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学科名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0302	科目名	Web アプリケーション		科目区分	専任	
科目群	総合科目	担当講師	増田 孝博		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教科書	Web アプリケーション構築入門 第2版		参考書				
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)、定期試験、提出課題						

### 1. 授業概要

Web アプリケーションについて、サーバとクライアントの仕組みを理解する
--------------------------------------

### 2. 到達目標

簡易なシステムを作り、サーバとクライアントの仕組みやセキュリティ対策などを理解する
---

### 3. 授業計画

前期	
1	web アプリケーションとは何か、成り立ちと概要を理解する
2	WSL を用いた Windows 環境下での Linux 利用方法
3	WSL 下での LAMP 環境構築
4	HTTP リクエストとレスポンスの詳細
5	PHP の導入と動作確認 GET と POST パラメータ渡し
6	サニタイジング処理 (XSS 対策)
7	Session と Cookie の利用
8	DBMS の導入と動作確認
9	中間試験
10	DB 構築と SQL を用いた CRUD 操作
11	SQL を用いたオペレーション
12	DB を使った Web システムの設計
13	DB を使った Web システムの構築
14	DB を使った Web システムの構築つづき
15	DB を使った Web システムのセキュリティ対策と動作テスト
16	web アプリケーションについてまとめ
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0303	科 目 名	新技術演習		科目区分	兼任 実務教員	
科 目 群	専門科目	担当講師	山中 修		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点 20%、定期試験 30%・提出課題 50%						

### 1. 授業概要

3D ソフトである MAYA を使って 3D ソフトの基本的な使い方を習得する。講師の企業での実務経験を活かして、ビジネスの現場で必要とされる実践的な 3D ソフトの使い方を学ぶことができる

### 2. 到達目標

3D モデリング技術の習得と光効果などを使った 3D 空間の作成

### 3. 授業計画

前期	
1	1 3D ソフトの紹介
2	2 Basic : 基本操作→インタフェースの名称と役割を知る
3	3 Basic : 基本オブジェクトの作成および編集方法 (移動、拡大、回転など)
4	4 Basic : 基本オブジェクトの組み合わせで立体オブジェクトを作る (動物や車など)
5	5 Basic : 4 の続き演習および制作物講評
6	6 ポリゴンモデリングの実際 : イン트로 (コンポーネント要素説明ほか)
7	7 ポリゴンモデリングの実際 : 押し出しなどの基本操作
8	8 課題作成実習 1 :
9	9 課題作成実習 2 :
10	10 ポリゴンモデリング : 制作物および各自アドバイス
11	11 キャラクター制作実習 : イン트로
12	12 キャラクター制作手順解説 : スケッチ方法など
13	13 キャラクター課題制作実習 1
14	14 キャラクター課題実習 2
15	15 キャラクター制作物 : 講評および各自アドバイス
16	課題
17	

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0304	科 目 名	メディアコンテンツ		科目区分	兼任	
科 目 群	総合科目	担当講師	大和 拓		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	なし			参考書			
成績評価	平常点 40%、提出課題 60%						

### 1. 授業概要

After Effects と Premiere を使って映像作りの基礎の習得
---

### 2. 到達目標

After Effects と Premiere を使って映像作りが一通りできるようになる
---

### 3. 授業計画

前期	
1	フットサルチームメンバー紹介ムービー発表
2	フットサルチームメンバー紹介ムービー発表
3	After effectst によるムービーの制作 絵コンテ作成
4	After effectsによるムービーの制作 カメラによる撮影
5	After effectsによるムービーの制作 カメラによる撮影
6	After effectsによるムービーの制作 カメラによる撮影～編集
7	After effectsによるムービーの制作 編集
8	After effectsによるムービーの制作 編集～音入れ・効果音
9	制作発表
10	Adobe Premiere によるムービー編集
11	Adobe Premiere によるムービー編集
12	Adobe Premiere によるムービー編集
13	Adobe Premiere によるムービー編集
14	Adobe Premiere によるムービー編集
15	制作発表と講評
16	制作発表と講評
17	課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0305	科 目 名	Web サイト制作 I		科目区分	兼任	
科 目 群	専門科目	担当講師	鈴木康仁		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	jQuery デザイン入門		参考書				
成績評価	平常点 30%、中間 35%、期末 35%						

### 1. 授業概要

Web サイト制作に必要な画像加工や HTML など基礎知識を学ぶ
-----------------------------------

### 2. 到達目標

オーサリングソフトの使用方法や HTML の基礎を覚え、実務に活かせるようにする
--

### 3. 授業計画

前期	
1	座学（インターネットの概要やサーバの話など）
2	Photoshop 制作実習（基本操作、ボタンの作成など）
3	Photoshop 制作実習（基本操作、ボタンの作成など）
4	Photoshop 制作実習（ボタンの作成や切り抜きなど）
5	Photoshop 制作実習（ボタンの作成や切り抜きなど）
6	Photoshop 制作実習（画像加工：マスク、色調補正、コラージュ作成）
7	Photoshop 制作実習（画像加工：マスク、色調補正、コラージュ作成）
8	中間試験
9	簡単な WEB ページの制作
10	簡単な WEB ページの制作
11	簡単な WEB ページの制作
12	簡単な WEB ページの制作
13	jQuery（基礎）
14	jQuery（プラグインの使い方/スライダーなど）
15	期末試験対策
16	期末試験
17	期末試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0306	科 目 名	Web サイト制作Ⅱ		科目区分	兼任	
科 目 群	専門科目	担当講師	鈴木康仁		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	jQuery デザイン入門		参考書				
成績評価	平常点 30%、中間 35%、期末 35%						

### 1. 授業概要

Web サイト制作に必要な画像加工や HTML など基礎知識を学ぶ
-----------------------------------

### 2. 到達目標

オーサリングソフトの使用方法や HTML の基礎を覚え、実務に活かせるようにする
--

### 3. 授業計画

後期	
1	サイト構成発表、Photoshop を使用したサイトデザイン制作
2	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
3	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
4	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
5	Photoshop を使用したサイトデザイン制作
6	WEB ページのコーディング
7	中間試験
8	WEB ページのコーディング
9	WEB ページのコーディング
10	WEB ページのコーディング
11	WEB ページのコーディング
12	WEB ページのコーディング
13	WEB ページのコーディング
14	WEB ページのコーディング
15	課題発表・提出
16	課題提出・修正・講評
17	課題提出・修正・講評

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」

学 科 名	クロスメディア情報学科
科目番号	0307
科目名	グラフィック応用
科目区分	兼任
科目群	総合科目
担当講師	坂上 恒之
履修区分	選択
開講学年	2年
開講学期	前期
単位数	2
授業形態	実習
教科書	なし
参考書	
成績評価	平常点 60%、定期試験 20%・コンペ参加 20%

1. 授業概要

デジタルデザインコンテンツをより実践的に学ぶ。広告表現に必要な知識、技術を学ぶ。

2. 到達目標

デジタル時代の web と印刷物との連動ワークに対応できる力をつける。

3. 授業計画

前期	
1	紙媒体での印刷データの作り方。CMYK データへの思考の変換。イラストレータの復習。実務に直結した操作。
2	イラストレータの復習。実務に直結した操作。色の選択。
3	印刷入稿データの作り方。デザインの基本ルール（見せ方、読ませ方）
4	企業ロゴ作成 既存フォントからの加工（自身の名前）
5	企業ロゴ作成 企業名提示による
6	企業ロゴの発表会（プレゼンテーション）
7	中間試験（イラストレータの復習より）
8	ポスター作成 1
9	ポスター作成 2
10	ポスター作成 3
11	フライヤー作成 1
12	フライヤー作成 2
13	フライヤー作成 3 提出
14	デザイン理論、追加解説。
15	期末試験対策（イラストレータ イラストレータ操作に関して、確認的テスト）
16	期末試験
17	試験解説



科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0308	科 目 名	3 DCG		科目区分	経験 実務教員	
科 目 群	専門科目	担当講師	山中 修		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	3	授業形態	演習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点 20%、定期試験 30%・提出課題 50%						

### 1. 授業概要

3D ソフトである MAYA を使って 3D ソフトの基本的な使い方を習得する

### 2. 到達目標

3D モデリング技術の習得と光効果などを使った 3D 空間の作成ができる。3 DCG を使用したゲームや VR コンテンツ、その他映像表現など個々のテーマに合わせた制作を目標とする

### 3. 授業計画

後期	
1	3D モデリング展開:前期習得した技術の応用(イントロ)
2	3D で世界を表現する:作業手順解説→アイデアの見つけ方
3	制作実習 1:大規模なモデリング→都市風景
4	制作実習 2:大規模なモデリング→自然風景
5	制作物講評および各自アドバイス(評価点含む)
6	Unity 基本:インタフェースを中心にした解説
7	Unity 基本 2:何が出来るか。見本で解説
8	unity+maya1:2つのソフトの連携の手順
9	unity+maya2:2つのソフトの連携の手順
10	unity+maya 制作実習 1:自動運動キャラクター作成
11	unity+maya 制作実習 2:インタラクティブ手法の基本プログラミング
12	unity+maya 制作実習 3:自由課題→作業手順の確認
13	unity+maya 制作実習 4:自由課題
14	unity+maya 制作実習 5:自由課題→仕上げ(映像にする、ゲームにする)
15	科目修了制作:講評および会社での仕事の進め方アドバイス
16	期末試験、解説
17	課題提出・発表

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0309	科 目 名	企画制作		科目区分	兼任	
科 目 群	総合科目	担当講師	得能正一		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	なし			参考書:「販促会議」、CF、プレゼン映像、Web、新聞等			
成績評価	出席点 40%・中間試験 30%・期末試験 30%						

### 1. 授業概要

企画を考えたときの「考え方」を学ぶ。

課題に対して、その解決のためにどのように考えていけばよいのかのプロセスや基本的なことを学ぶ。

### 2. 到達目標

「考えること」を身につける。企画書を作成できるようにする。

### 3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション-企画とは、企画を考える時の基本的な考え方・進め方。
2	演習 1-スコアリング社会について考える。
3	企画の背景-ニーズ、マーケット、マーケティング、ターゲット等について。
4	企画の背景-マーケットについての考察。
5	演習 2-販促コンペの課題のアイデア出し 1
6	演習 3-販促コンペの課題のアイデア出し 2
7	中間試験
8	演習 4-理論的思考のトレーニング-要素分解について。
9	演習 5-理論的思考のトレーニング-マトリクスについて。
10	演習 6- IT 関連等のタイムリーな話題やニュース等についての考察。
11	演習 7- IT 関連等のタイムリーな話題やニュース等についての考察。
12	企画書について 1 (構成、見た目、インパクト、説得力等について)
13	企画書について 2
14	企画書について 3
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0310	科 目 名	プレゼンテーション		科目区分	兼任	
科 目 群	総合科目	担当講師	得能正一		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	なし			参考書:「販促会議」、CF、プレゼン映像、Web、新聞等			
成績評価	平常点 40%・中間試験 30%・期末試験 30%						

### 1. 授業概要

「企画制作」とセットと考え「プレゼンテーション」とは何かを学ぶ。

### 2. 到達目標

「考え」を効果的、効率的に伝えること。説得できるようにすること。

### 3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション-プレゼントとは何か。
2	演習 1-ホームページリニューアルのプレゼンについて。
3	演習 2-販促コンペの受賞作について
4	演習 3-販促コンペの課題について
5	演習 4-販促コンペの課題のアイデア出し
6	演習 5-販促コンペの課題のアイデア出し
7	中間試験
8	演習 6-企業広告やPRあるいはCSR等についての考察。
9	演習 7-企業広告やPRあるいはCSR等についての考察。
10	演習 8-企業広告やPRあるいはCSR等についての考察。
11	演習 9-企業広告やPRあるいはCSR等についての考察。
12	演習 10-企業広告やPRあるいはCSR等についての考察。
13	演習 11-企業広告やPRあるいはCSR等についての考察。
14	演習 12-企業広告やPRあるいはCSR等についての考察。
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0311	科 目 名	卒業制作		科目区分	専任	
科 目 群	総合科目	担当講師	増田・青山・菊川		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	実習
教科書	なし			参考書:			
成績評価	制作物（作品） プレゼンテーション						

### 1. 授業概要

自ら企画した卒業作品を制作・発表することで、一連の流れと自分の役割を認識して自ら動けるようになる事を目指す。

### 2. 到達目標

授業を通して、技術に対しての情報収集力を身に付ける。

### 3. 授業計画

後期	
1	企画書の作成
2	企画書の作成
3	企画書の作成
4	プロトタイプ制作
5	プロトタイプ制作
6	プロトタイプ制作
7	卒業制作内容発表
8	開発・制作作業
9	開発・制作作業
10	開発・制作作業
11	開発・制作作業
12	開発・制作作業
13	開発・制作作業
14	開発・制作作業
15	開発・制作作業
16	レポート作成
17	提出

科目の教育目標・授業計画 「2022年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	0312	科 目 名	インターンシップ		科目区分	連携企業	
科 目 群	総合科目	担当講師	増田 孝博		履修区分	選択	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	3	授業形態	実習
教 科 書	なし（企業研修のため）		教材・参考書 なし（企業研修のため）				
成績評価	一週間程度の企業研修に参加し、学びについてのレポート提出により評価						

### 1. 授業概要

実際の各現場を体験することを目的としたインターンシップ（校外企業研修制度）参加者への単位付与。

### 2. 到達目標

学校では決して学ぶことができない「最前線の現業」を経験し、未来像を具象化することに役立つ。

### 3. 授業計画

後期	
1	企業内及び各現業実地における研修並びに参加後レポート作成提出
2	(以下同文)
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	注) 企業研修制度のため実際の授業回数と異なる